

教育目標

中長期目標	地域社会に貢献し、地域から応援してもらえる学校を目指す	1年 2年 3年
重点目標	【input】 【thinking】 【output】 3つのサイクルを身につけ、対話力の向上・学習習慣の確立をはかる。 1. 対話力の向上を目指して社会で生きる力を身につける。 2. 学習習慣の確立を目指して「学びに向かう力」を身につける。	A A A B A A

校務分掌	目標項目	評価基準			自己評価		関係者評価	コメント
		S	A	B	中間	最終		
教務部	業務の迅速・正確な処理	期待以上に効果的に進められている	概ね、ミスなく、速やかに行う事ができている	課題となる事項が残っている	A	A	A	ほとんどの業務は速やかに行う事ができた。
	新学習指導要領に伴う教育課程の編成	教科横断的な視点で編成をおこなっている	計画通り、進めている	教科内での検討にとどまっている	A	B		今年度の目標まで至らず、今後修正して動めていきたい。
	授業改善への取り組み	取組が活発化している	全教科での取組が進んでいる	検討のみで、取組の実施ができていない	B	A		年度当初お願いした強化の研究授業は実施できた。次年度は回数を増やして更に改善方向へ進みたい。
	読書の推進	読書の習慣化につながっている	朝読書での取組姿勢が定着している	朝読書が十分にできていない	A	A		全校でしっかりと取り組んでいた。
進学指導部	基礎学力の強化(知識・技能)	期待以上に取組の効果があらわれている	取組の効果が十分にあらわれている	指導の効果があらわれていない	B	B	A	日々の授業における地道な取組が必要だと思う。基礎学力セミナーだけでは対応しきれないと思う。
	社会で活躍できる力を身につける(思考力・判断力・表現力)	取組の成果があらわれている	具体策を講じて取り組んでいる	効果が見られない	A	A		普通コースでのLiteras検定の取組を行った。
	主体性を持って、多様な人々と協働して学ぶ態度を養う	取組の成果があらわれている	具体策を講じて取り組んでいる	効果が見られない	A	S		英数国等の授業でのグループワークを積極的に行った。一部のコースではあったが、米子市の活性化について市長に向けて発表した。
就職指導部	進路実現に向けた生徒の意識向上を図る	生徒の積極的な取組に繋がっている	具体策を講じて取り組んでいる	効果が見られない	S	A	A	年度当初から危機感を持って意識向上に取り組む、成果が現れた
	進路を勝ち取るための力の育成を図る	生徒の積極的な取組に繋がっている	具体策を講じて取り組んでいる	効果が見られない	A	A		就職セミナーや公務員対策講座・模試を実施し個々の希望に必要な力の育成を図った。
	進路実現のためのサポート体制の強化を図る	生徒の進路実現の成果に繋がっている	具体策を講じて取り組んでいる	十分に体制がとれていない	A	A		ハローワークや就職支援機関と連携をとり、その結果良い形で就職につなげることができた。 服装や携帯電話使用の違反がわずかではあるが見られ、今後も粘り強く指導していきたい。 問題行動のあった生徒の指導に対して反省期間を定め目標を持って指導し、立ち直りを図ってきた。
生徒指導部	生徒の規範意識を高める	生徒の自主性が育っている	しっかりとルールを理解し、遵守している	規範意識の低さが目立っている	A	A	A	大きなことではないが、挨拶運動など地道に取り組んできた。
	迅速かつ適切な生徒指導に努める	生徒が、理解を深め、向上心が育っていく	適切な指導をして、立ち直りが図れている	生徒の立ち直りに至らない	A	A		清掃道具の補充をして、環境整備を行った。
生徒会・環境美化部	自主活動の推進(活気ある生徒会を目指して)	活気ある生徒活動が行われている	自主的に生徒会活動に取り組んでいる	生徒会活動が全校生徒に浸透していない	A	A	A	少しづつではあるが、取組が進んでいる。
	環境美化と安全衛生管理の推進	校内外の美化に意欲的に取り組んでいる	意識して、校内美化に取り組んでいる	取組が不十分である	B	A		家族との連携を密にとり、協力を得ることができた。
	環境と保健に対する意識の向上や安全管理における活動の充実	啓発活動の効果が十分にあらわれている	啓発活動に取り組んでいる	取組が不十分である	B	A		全職員に情報共有は行っているが、セミナー担当の確認が十分でなかった。
生徒支援部	生徒一人ひとりを大切にする教育の推進	生徒が自己肯定感を持ち、行動に表れている	全職員が意識した指導ができています	生徒の自己肯定感に繋がっていない	A	A	A	日頃から学年団との連携を更に強化していきたい。
	教職員による支援内容に係わる共通理解	全教員での共有ができ、協力体制がとれる	関係職員の支援を徹底している	連携、協力体制に不十分な面がある	A	A		中学校との良好な関係が維持でき、生徒募集に成果があったと考えている。
	いじめ問題に関する理解を深める	観察力を高め、未然防止を徹底している	適切な対応が全職員でできている	対応が不十分である	A	A		連携はとれていたが、各行事への積極的参加につながる工夫が必要である。
総務部	生徒募集に関する計画立案と中学校との関係強化	立案に加え、計画の準備を整えている	現状把握からの確な手段を計画していく	現状維持にとどまっている	A	A	A	校務支援システムの導入を進めている。
	教育振興会との連携の強化	保護者の積極的活動に繋がっている	十分に連携をとってすすめている	保護者の積極的な参加に繋がらない	A	A		新しい活用方法を模索している。
情報システム部	高大接続にかかる調査書、指導要録の改訂	計画が具体的に進行している	検討がされて、計画立案がなされている	検討の段階で進行するに至っていない	A	B	A	校務支援システムの導入を進めている。
	ホームページの充実による学校の魅力アピール	さらなる工夫を取り入れ、発信している	従来の内容をスピーディーに発信している	情報提供の遅延など十分に活用していない	A	A		先生、生徒の活用が消極的である
	ICT(授業活用)、Classi(各種情報データ化)活用推進	生徒の積極的活用ができています	先生の積極的活用ができています	先生、生徒の活用が消極的である	A	A		小テスト実施やClassiを利用した配信でほとんどの生徒が学習習慣が身につくようになってきた。
看護部	学習習慣を身につけ、日々計画的な学習が行うことができるように指導する	指導の効果が十分あらわれている	指導の効果があらわれている	指導の効果があらわれていない	A	A	A	細かいところまで丁寧な指導を心掛け、少しずつ成果が現れている。
	臨地実習での生徒指導(言葉遣い、態度、服装、体調管理、SNSの取扱等)を徹底する	指導の効果が十分あらわれている	指導の効果があらわれている	指導の効果があらわれていない	A	A		電気等の契約見直し、エアコンの集中管理等により、大幅な削減ができた。
事務部	経費の削減に努める	期待以上に実施できている	適切に実施できている	十分な実施ができていない	A	A	A	